

2025 年度

イオンゆめみらい保育園 新小松 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月28日（水）～2月19日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月7日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「すくすく育つ」「わくわく遊ぶ」「いきいき過ごす」の保育目標に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添うこと、子どもの気持ちを汲み取ることの大切さを研修にて全職員が改めて学び、今後の保育に活かせられるようにした。
子どもの発達援助	クラスミーティング、リーダーミーティング、職員会議など、話し合う機会を多く持ち、子どもたち一人ひとりの発達の状況を職員間でこまめに共有し、個性に応じて育ちを支えることを大切にした。また毎月 SIDS 対策チェックシートを使用した安全研修の実施により、危機管理の意識を高めた。
保護者に対する支援	夏まつりではたくさんのイオンモール館内テナントから協賛していただき、イオン内保育園という強みを感じられるよい行事となった。また連絡帳や送迎の際に、その日の子どもの様子や成長した姿を伝えられるように意識した。
保育を支える組織的基盤	マルチリトメント研修や、ワークシートを用いた養護と教育が一体となった言語化研修など研修の機会を多く持ち、「子どもの最善の利益」や「子どもの人権」について全職員で考えた。改めて学ぶことで、子どもたちとの関わり方、言葉選びによい変化が見られ、保育とは何かを具体的に学ぶことができた。

総評
<p>ミーティングで話し合いの時間を多く持つことで全体的な共有につながった。また研修を通じて子どもや保育について理解を深めるうえで、自分の思いを他の保育士に伝えたり、周囲の保育士と意見を交換することの重要性を職員一人ひとりが再認識した。</p> <p>今後も同僚性の構築に努め、園全体のチームワークを高め、連携を図るとともに、常に「子どもにとってどうなのか」という視点から、保育のあるべき姿を考えていくことを大切にしていく。</p> <p>安全面では災害時の対応についてイオンとの連携も視野に入れ、話し合いや訓練を重ねていきたい。</p>